

2018年6月22日
第88号

全労連

全労連
憲法・平和グループ

憲法 平和闘争ニュース

与党が勝手に7月22日まで国会延長 悪法強行許さない！ 木曜行動続けます

元気な宣伝をさらに広げよう

神奈川

16日桜木町街宣は80人が参加。「楽しそうね！」と子どもや学生たちが次々署名やシール投票を。



国会の動き

公明「何としても国民投票法改正案を成立させたい！」と策動

毎日新聞(6/22付け)によると、公明党の北側一雄副代表は21日の記者会見で、憲法改正の手続きを定める国民投票法改正案について「何としても成立させたい。来週、早い段階で共同提出したい」と述べたそうです。ただ、与野党対立が続く中、立憲民主党や国民民主党は慎重姿勢を崩しておらず、共同提出の枠組みや時期はなお不透明。

同改正案は一般の選挙について定める「公職選挙法」と「国民投票法」のずれを解消する内容です。自民、公明両党による共同提出の呼びかけに応じる意向を示しているのは日本維新の会と希望の党のみで、立憲や国民は21日の衆院憲法審査会幹事懇談会を欠席しました。日本共産党と社民党は、「改憲の必要性はなく、そのための法改正もただちに必要ない」としています。

北側氏は「4党で共同提出するので、あといくつ(の党が)乗ってもらえるか」と立憲などをけん制。与党は26日に幹事懇を開き、立憲や国民に改めて共同提出を呼びかける考えのようです。とにかく、憲法審査会を開いて、「改憲」への動きを少しでも進めたい、かつ、「国民投票法」で野党共闘を崩したいというのが与党の本音でしょう。その点で公明党が積極的役割を果たしているということではないでしょうか。

「憲法審査会」については、今通常国会では、参議院で一回(2/21)開かれただけであり、あとは、人事案件(幹事と委員の異動)で短時間開かれたのみです。「3000万人署名」運動の広がりや、安倍改憲スケジュールを大きく狂わせています。あせっている与党側は、延長国会で何としても審査会を開きたいのでしょう。

「憲法審査会」は、以前の「憲法調査会」とは大きく違います。2007年(つまり安倍第一次政権)の「国民投票法」成立をきっかけに、つくられたのが「憲法審査会」であり、改憲発議の案件について議論する委員会です。日本共産党の委員は、「審査会は開くべきではない」という立場であり、発言の冒頭に必ず、その趣旨の意見を述べています。

6月2～3日長崎市で第48回国公女性交流集会在開催されました。

女性の目線で考える機会になりました！

1日目は「女性と憲法」と題して、長尾ゆり全労連副議長が記念講演。高校社会科教員として、「憲法大好き人間を増やしたい」と憲法を伝えてきた経験から「教室の空気が優しくなる」「憲法25条を学んで前を向いて生きていこう」と何度も自殺を考えた生徒の言葉などを紹介。憲法は女性の権利宣言であると、憲法第14条・第24条の大切さを戦前の家制度に戻そうとする自民党改憲案と比較しながら話し、「個人の尊厳」を保障する第13条についても考えました。相次ぐ閣僚や政治家の女性蔑視の言動、「セクハラ」も理解できない人権後進国の日本で、「憲法が女性を応援してくれている」と指摘。第9条の改悪(改憲)を狙う安倍を憲法を力にストップさせようと話されました。(左上写真)

2日目は、「憲法カフェ」で憲法の各条文を学ぼうと、憲法27条、9条など5つの分科会に分かれ、1人ひとりが各課題に沿って学習し、深めました。(左下写真・第9条の分科会フィールドワーク)

全体を通して、憲法は働き方や暮らしにかかわる価値のある条文であると気づかされると同時に、女性の目線で考え、さまざまな観点から学習できる機会になりました。



〈記念講演についての参加者の感想〉

- ・社会人になり、憲法について考える機会がなかったが、高校生の話を聞き、私も社会の授業で憲法に感銘し公務員をめざしたことを思い出した。(全経済 20代)
- ・憲法が自分たちを守るものであるという言葉にはっとさせられるものがありました。この集会に参加したことを機に、憲法「改正」について学び、声を上げていけたらいいなと思いました。(全司法 30代)
- ・女性と憲法について、とてもわかりやすい講演を聞いて勉強になりました。憲法の大切さを改めて理解しました。(全法務 20代)

〈第3分科会 セクハラ 参加者の感想〉

- ・1人ひとり自己紹介形式で話しましたが、たくさんのセクハラがあり、流してしまったり我慢したりする人がいると驚きました。(国土交通 20代)
- ・公務の職場にセクハラの事例が多いのを改めて認識しました。これから職場の周りの状況を把握していかなければいけないのか、組合活動についても考えさせられました。(全法務 40代)
- ・ハラスメントは個々の受け手によってまったく違うと思います。…個人を大切にした対応、仕事のパートナーとして大切にした対応をすれば、おきないはず…と結論づけました。(30代)

改憲発議許さない！森友・加計学園疑惑徹底追及！安倍内閣総辞職を求める延長国会のとりくみに全力を！

日 時	行 動 名	場 所
6月28日(木)19:00～	原発ゼロ基本法の制定をめざす市民のつどい	なかのゼロホール ● *木曜日行動はありません
7月5日(木)18:30～19:30	森友・加計学園疑惑徹底追及！安倍内閣は総辞職を！木曜日行動	衆議院第2議員会館前を中心に
7月12日(木)18:30～19:30	森友・加計学園疑惑徹底追及！安倍内閣は総辞職を！木曜日行動	衆議院第2議員会館前を中心に
7月19日(木)18:30～19:30	19日行動	衆議院第2議員会館前を中心に
●さようなら原発1000万人アクション・原発をなくす全国連絡会の共催、総がかり行動実行委員会協賛		